

教育研究業績書

令和 3 年 3 月 31 日

氏名 重村 幹夫 印

著書、学術論文等の名称	単著、 共著の 別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又 は発表学会等の名称	概 要
(学術論文) 1) 画塾彰技堂の講義録『布置経営』と画学類纂『絵事三要－布置法』との関係について－英語原書を元にした比較による－(研究紀要)	単著	平成 26 年 3 月	仁愛女子短期大学研究紀要第 46 号、仁愛女子短期大学(53～62 頁)	「布置経営」及び「絵事三要－布置法」は、油画解説書であり、画塾彰技堂主、本多錦吉郎による同一英語原書からの翻訳である。「布置経営」の 7 年後に「絵事三要－布置法」が出版された。原書を基準に 2 つの翻訳の関係を調べることで、彰技堂の学習環境や、油画受容事情の参考になるのではないかと考えた。その結果、先行研究の通り全く違い関連が無いことが確認された。また、「布置経営」には、彰技堂での学習のあり方を考える上で興味深い、原書には無い塾生による追加記述が多くあった。これらは、原書の内容を咀嚼理解する上で有益であるだけでなく、発展的な記述であると考えられる。
2) 画塾彰技堂の講義録『画図中ノ明暗』と英語原書の比較について(査読付)	単著	平成 28 年 3 月	美術教育学研究第 48 号、大学美術教育学会(217-224 頁)	画塾彰技堂の講義録『画図中ノ明暗』は、本多錦吉郎が、John Burnet の原書を彰技堂で訳述講義したものである。本考察では、原書を基準に『画図中ノ明暗』の翻訳の傾向を調べた。その結果、明治初年の段階では、原書の引用作品の実物を参考にすることができず、参考図版も不鮮明な場合もあり、本多にとって翻訳が困難で、間違えたり省略したりした部分も見られた。しかし、全体としては Burnet の意図をよく汲み取った翻訳であると言える。油画技法の翻訳に対しても深い理解が見られた。そして、本多の翻訳には洋画理論の理解にとどまらず、英語概念を日本語に取り入れていきたいという思いが感じられた。また、必要に応じ洋画理論と直接関係のない内容の省略を行い、追加記述をして、画塾の講義資料として塾生の理解を助けるための配慮がなされていた。
3) 保育者養成課程における造形教育実践についての一考察 - 保育環境に必要な造形の基礎技能の習得を中心に - (研究紀要)	単著	平成 29 年 3 月	仁愛女子短期大学研究紀要第 49 号、仁愛女子短期大学(59～67 頁)	保育者養成課程における造形教育実践について考察した。本考察は、幼児への援助のための「設定遊び」の中の「造形表現」内容を主に記したのではなく、筆者がこれまで行ってきた、保育者として求められる保育環境に必要な造形上の基礎技能の習得の実践について記したものである。

				内容は、デッサン、色彩理論の基礎。抽象絵画、ダンボールの工作に大別され、それぞれの基礎技能習得の意義と、その実践についての考察を行った。
4) 0～2 歳児の造形表現活動とその教育的意義について	単著	平成 30 年 3 月	福井県内保育者対象アンケート 調査報告書	仁愛女子短期大学共同研究調査報告書。3 歳以下の子どもでは、自己の物への関わりの行為と結果を確かめる触覚的探索活動が見られ、4～5 歳児には、目的をもった知的探索活動が主に見られるが、実際の幼児の活動は、触覚的探索活動と知的探索活動が複雑に関わっている。 (pp. 77-79) 共著者：増田翼、内田雄、江端佳代、山下清美、木下由香、重村幹夫、乙部貴幸、中尾繁史、野本尚美、田中洋一、前田敬子、香月拓、後久真嗣、賞雅さや子、松川恵子
5) 児造形活動における「見立て」に関する一考察(研究紀要)	単著	平成 30 年 3 月	仁愛女子短期大学研究紀要第 50 号、仁愛女子短期大学(pp. 69-76)	研究紀要。「見立て」は、言葉の発達や経験によるイメージの蓄積と関係があり、その重要性は明らかである。幼児にとって、五感を使った探索活動を伴う活動の中で喚起される「見立て」と「仕立て」との複合的な往還の過程で、新たに作り直されるイメージが、「新しい意味生成」としての創造行為であると考えられる。
6) “John Burnet , Practical hints on light and shade in painting, 1829” の翻訳について	単著	平成 31 年 4 月	仁愛女子短期大学研究紀要第 51 号、仁愛女子短期大学(pp. 71-90)	研究ノート(研究紀要)。 “John Burnet, Practical hints on light and shade in painting, 1829” を翻訳し、その全文を掲載した。また、原書の図版は、不鮮明であるので、特定できたものは、鮮明な図版に差し替えた。また、参考図版を追加した。
7) “John Burnet, Practical hints on colour in painting, 1830” の翻訳について	単著	令和 2 年 3 月	仁愛女子短期大学研究紀要第 52 号、仁愛女子短期大学(pp. 91-126)	研究ノート(研究紀要)。 “John Burnet, Practical hints on colour in painting, 1830” を翻訳し、その全文を掲載した。また、原書の図版は、不鮮明であるので、特定できたものは、鮮明な図版に差し替えた。また、参考図版を追加した。
8) コロナ禍における実技・演習系の面接授業について	単著	令和 3 年 3 月	2020 年度ブランディング事業『報告書』保育者養成のこれから～キャリア・ルーブリックの作成とコロナ禍における養成の在り方～	コロナ禍における造形の面接授業設定の実践報告。
9) “Aaron Penley, SKETCHING FROM NATURE IN WATER COLOURS, 1870” の翻訳について	単著	令和 3 年 3 月	仁愛女子短期大学研究紀要第 53 号、仁愛女子短期大学(pp. -)	研究ノート(研究紀要)。 “Aaron Penley, SKETCHING FROM NATURE IN WATER COLOURS, 1870” を翻訳し、その全文を掲載した。内容は風景水彩スケッチの技法、技術の解説であり、風景スケッチを描くうえ

				で有意義である。
(その他) 〈作品制作〉				
1) 変容 I	单著	平成 24 年 6 月	2012 北陸二紀展、金沢 県立美術館	F130 号(162.0×194.0cm)、混合技法、 パネル。 オールオーバーに近い構図を用いて、 中央に大きな量を描いた作品。
2) 変容 II	单著	平成 24 年 10 月	第 66 回二紀展、国立 新美術館	F130 号(194.0×162.0cm)、混合技法、 パネル。 縦構図で、中央に左右対称の大きな 量を描き、神聖な感じが出るように した。
3) 変容	单著	平成 25 年 2 月 28 日～3 月 6 日	第 3 回 UNI 展 - 8 人の 視座 -、ギャラリー絵 夢	画廊企画。 F100 号(162.0×130.3cm)、混合技法、 パネル。 全体をオールオーバーに近い平面的 な構図とした。中心に渦のような形 を描き、幻惑するような表現とした。
4) 「変容 III」	单著	平成 25 年 3 月 10 日～3 月 17 日 5 月 14 日～5 月 19 日	第 11 回春季二紀展、 東京都美術館 2013 年春の北陸二紀 展、金沢 21 世紀美術 館	F120 号(194.0×162.0cm)、混合技法、 パネル。 中央下部に円形を置き、周囲に拡散 するムーブマンを与えた作品。
5) 「変容 I」	单著	平成 25 年 10 月 16 日～10 月 28 日	第 67 回二紀展、国立 新美術館	F130 号(194.0×162.0cm)、混合技 法、パネル。 祭壇の形状を中央に描き、左右に垂 直の形体をシンメトリーに加えた。
6) 「変容 II」	单著	平成 26 年 8 月 5 日～8 月 10 日	2014 北陸二紀展、金沢 21 世紀美術館	F130 号(194.0×162.0cm)、混合技 法、パネル。 垂直方向の上昇感を強調して描いた 作品。
7) 「変容 I」	单著	平成 26 年 10 月 15 日～27 日	第 68 回二紀展、国立 新美術館	F130 号(162.0×194.0cm)、混合技法、 パネル。 オールオーバーに近い構図を用いた 作品。無作為に置いた絵の具から、環 状の形体を描き出した。
8) 「変容 I」	单著	平成 27 年 8 月 4 日～9 日	2015 北陸二紀展、金沢 21 世紀美術館	F130 号(162.0×194.0cm)、混合技法、 パネル。 オールオーバーに近い構図から、球 状の形体を描き出した。
9) 「変容 II」	单著	平成 27 年 10 月 14 日～26 日	第 69 回二紀展、国立 新美術館	F130 号(194.0×162.0cm)、混合技 法、パネル。 オールオーバーに近い構図にストロ ークを用いた作品。
10) 「森 I」	单著	平成 28 年 8 月 9 日～13 日	2016 北陸二紀展、金沢 21 世紀美術館	F120 号((112.0×194.0 cm)、鉛筆、 パネル 池田町の森林風景を描いた作品。
11) 「森 II」	单著	平成 28 年 10 月	第 70 回二紀展、国立 新美術館	F120 号((112.0×194.0)、鉛筆、パネ ル 池田町の森林風景を描いた作品。
12) 「森」	单著	平成 29 年 8 月	2017 北陸二紀展、金沢	F130 号(194.0×162.0 cm) 鉛筆、パ

		平成 29 年 10 月	21 世紀美術館 第 70 回二紀展、国立 新美術館	ネル。 池田町の森林風景を描いた作品。
13) 「森Ⅰ」	単著	平成 30 年 8 月	2018 北陸二紀展、金沢 21 世紀美術館	F130 号(162.0×194.0cm)、混合技法、 パネル。 幻想的な森と人物を組み合わせた作 品。
14) 「森Ⅱ」	単著	平成 30 年 8 月 平成 30 年 10 月	2018 北陸二紀展、金沢 21 世紀美術館 第 71 回二紀展、国立 新美術館	F130 号(194.0×162.0 cm) 鉛筆、パ ネル。 池田町の森林風景と人物を組み合わ せた作品。
15) 「冬の日」	単著	平成 31 年 3 月	第 14 回春季二紀展	F120 号(194.0×162.0cm)、混合技法、 パネル。 草の生えた地面を描いた作品。
16) 「池田町の山」	単著	令和元年 7 月	2019 北陸二紀展、石川 県立美術館	F130 号(162.0×194.0cm)、混合技法、 パネル。池田町の森林風景。
17) 「樹木」	単著	令和元年 10 月	第 72 回二紀展、国立 新美術館	F130 号(162.0×194.0cm)、混合技法、 パネル。河川堤防の樺を描いた作品。
(その他) 〈口頭発表〉				
1) 画塾彰技堂の講義録 『布置経営』と画学類纂 『絵事三要－布置法』との 関係について－英語原書 を元にした比較による－	単独	平成 26 年 10 月	大学美術教育学会福 井大会研究(口頭発 表)概要集 p.59	本発表は、「仁愛女子短期大学研究紀 要」, 第 46 号, pp53-62, 2014 にて執筆 発表したものを、再度口頭発表した ものである。
2) 画塾彰技堂の講義録 『画図中ノ明暗』と英 語原書の比較について	単独	平成 27 年 9 月	大学美術教育学会横 浜大会研究(口頭発 表)概要集 p.76	本発表は、同一題目の論文を、美術教 育学研究第 48 号(217-224 頁)に投 稿、掲載する前に口頭発表したもの である。
3) 幼児造形活動におけ る「見立て」に関する一考 察 (単独発表)	単独	平成 30 年 3 月	美術科教育学会滋賀 大会研究発表概要集 p.74	本発表は、「仁愛女子短期大学研究紀 要」, 第 50 号, pp69-76, 2018 にて執筆 発表したものを、再度口頭発表した ものである。